

(露地・雨除け) サクランボ特報No.5



平成29年5月26日

J A中野市営農センター

J A中野市サクランボ部会

今後は降雨からの灰星病感染が心配されますので、晩生種の防除も徹底しましょう。
また、隣接園（特に収穫期の作物等）に飛散しないよう注意して下さい。

【収穫前最終防除】

・散布日 6月 日 ・散布量 ℓ

*散布時期 6月上旬（着色前）（6月1日～8日頃）

*散布薬剤（水100ℓ当り）

・フルーツセイバー 66ml（前日、3回）

・ディアナWDG 10g（前日、2回）

*対象病害虫：灰星病・炭そ病・幼果菌核病・ショウジョウバエ類・ハマキムシ類

*散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ

*注意事項 ー 散布の際は果実汚染、裂果に注意する。

・展着剤は加用しない

・カメムシ類（スリップス類）の発生が心配される場合は、アルバリン顆粒水溶剤の2000倍（前日、2回）を加用する。（果実汚染注意する。）

・ディアナWDGに代えてアーデントフロアブル2000倍（前日、3回）でもよい

「晩生種特別散布」 6月中下旬

灰星病・ショウジョウバエ類の発生する園は、

・オーシャインフロアブル3000倍（前日、5回）

・アーデントフロアブル2000倍（前日、3回）を特別散布する。

◎管理作業

*新梢管理（主幹形）・・・4～5芽程度か基芽を残して新梢を摘芯する。（早急に）

*誘引・・・徒長枝になりそうな強い新梢は誘引し花芽着生を促す。また、この時期は枝も柔らかく折れにくいので、主枝・側枝も実施する。

*灌水・・・黄化期までは、定期的な灌水を実施する。

*着色管理

●葉摘み・・・収穫予定7～10日前頃から果実に直接かぶさる葉を摘む。摘み過ぎに注意。

●反射マルチ・・・タイベック（白系マルチ）を使用する

●雨よけ施設の被覆・・・5月末～

栽培日誌の完全記帳、出荷時まで提出をお願いします